

ちよぴのI♡銚子

～銚子の魅力を発信するちょ～

第6回 ひらのゆうたろう 平野雄太良さんの巻

銚子ラーメン界の若き求道者

平野雄太良さんは、観音様山門脇のラーメン店、銚子麺屋 潮の31歳の若き店主だちょ。

市内で事務員をしていた平野さんは週4日食べるほどのラーメン好き。あるとき、若者にも新鮮で個性的なラーメン屋を銚子でやろう！と決意。料理自体未経験だったけど、大手ラーメンチェーン店での研修、店長勤務、有名店での修行などを経て、2年半前めでたく故郷銚子に店を構えました。こだわりは地の食材を活かすこと。醤油、味噌、ひ志おや野菜は銚子産のものを使用してるちょ。

2014年の夏に県内屈指の音楽イベントに出店したときには、なんと2日間で900食を売り上げる大記録を達成。「自分の作った味がたくさんの人に受け入れられてうれしかった」と平野さん。「他人と同じ事をしては同じ結果しか出ない」がモットー。



「渾身の一杯を召し上がれ!!」と平野さん

銚子の食＝魚の印象は根強く、ラーメンの好みは人それぞれ。それでも、潮のラーメンを食べに銚子に来た、と言われるような“銚子の星”になるのが目標と熱く思いを語ってくれたちょ～。

さて、最後まで読んでくれたあなたに平野さんからとっておきのプレゼント。3月中「ちよぴーのI♡銚子を見た」と言った方に、まぜそば750円を600円でご提供！豊富なメニューからお好みの一杯を見つけてちょ♪

■平野さんのお店■ 銚子麺屋 潮

飯沼町8-5
☎(25) 1515

協力/銚子商工会議所青年部 ▶まぜそば



海と川に囲まれ、さまざまな産業を生んだ恵みの地。今回はもうじき国指定名勝及び天然記念物に指定される屏風ヶ浦に出かけてみましょう。

屏風ヶ浦の雄大な景観の秘密は、地層が新しく柔らかいこと。現在のようには消波ブロックが設置される以前、崖は荒波に年間約1mも削られていました。削られたての新鮮な崖面はきれいな地層のしま模様をしています。

屏風ヶ浦の上と下で色が違うことにお気づきですか。下は白っぽい色で、海が深かった時代(約300万年から1000万年前)に積もった主に泥でできた地層。上は赤っぽい色で、海が浅かった時代(約10万年前)に積もった主に砂でできた地層です。砂がさびて赤く見えます。

屏風ヶ浦散策におすすめなのは銚子マリナー海水浴場駐車場奥の遊歩道。間近で見る大迫力の崖面と刑部岬まで続く全景を眺められます。冬場の夕日に赤く照らされる屏風ヶ浦の美しさは必見。空気の澄んだ日には沖に富士山を望むこともできます。

後世に伝えていきたい、銚子のすばらしい風景の一つです。

ジオツアールにでかけよう♪

銚子ジオパーク 問合せ
銚子ジオパーク推進協議会事務局 ☎(24) 8911

広報ちょうし 平成28年3月号 第1170号 平成28年3月1日発行

発行/銚子市 編集/政策企画部 秘書広報課 〒288-8601 銚子市若宮町1-1 ☎0479(24)8181(代表) <http://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちょうしは、読みやすく分かりやすいデザインの「UD(ユニバーサルデザイン)フォント」を使用しています。

